

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第61回  
奈良県代協

危機意識を頭の片隅に

●一般公開セミナー  
奈良開催としては6年ぶり、「近畿ブロック協議会公開セミナー」が2024年2月21日(水)に開催されました。

昨秋での企画構想段階では、奈良県は大規模自然災害が他府県と比較して発生頻度が低く「災害に対する危機意識」も高いとは言えず、少しでも皆様に防災について関心をもってもらおうと、講師を務めていただいた朝日放送テレビの木戸崇之氏と相談のうえ講演テーマも気を引く「奈良に大仏がある理由」として準備をすすめ、今回の来場者の半分くらいを想定して会場を押さえておりました。

しかし、日本中がまったりと過ごしていた令和6年1月1日元日の16時頃、誰もが予見できなかった「能登半島大震災」が発生し、大地震の猛威をまざまざと見せつけられた。

セミナーの様子  
セミナーでは、約130名の参加者が集まり晴天のなか2024年10月12日(土)に開催され無事に終了しました。当日は弊会員とご家族、損害保険会社の社員様とご家族がJR奈良駅前広場を出発しゴールの奈良公園(春日大社一の鳥居付近)までを約1時間、参加者それぞれのパースで路上のゴミを拾い集めて歩きまわりました。全体では90リットルのゴミ袋2袋が集まり、古都奈良の表玄関をキレイにできました。

●新春セミナー  
奈良県には数々の有名な社寺が点在しており、奈良県代協としては新春セミナーにて例年様々な社寺を参拝し講和を拝聴しています。あわせて「2024クリーンキャンペーン古都なら」には

約130名の参加者が集まり晴天のなか2024年10月12日(土)に開催され無事に終了しました。当日は弊会員とご家族、損害保険会社の社員様とご家族がJR奈良駅前広場を出発しゴールの奈良公園(春日大社一の鳥居付近)までを約1時間、参加者それぞれのパースで路上のゴミを拾い集めて歩きまわりました。全体では90リットルのゴミ袋2袋が集まり、古都奈良の表玄関をキレイにできました。